

2025年7月9日



中野区長定例記者会見資料

- 1 中野駅新北口駅前エリアにおける今後のまちづくりの取組
- 2 文化芸術・産業振興等の行政・地域情報の発信及びコミュニティ形成に係る連携協定の締結
- 3 旧中野刑務所正門の移築・修復工事の進捗状況等
- 4 新たな病児保育施設の開設
- 5 健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業
- 6 イベント等情報（別紙）

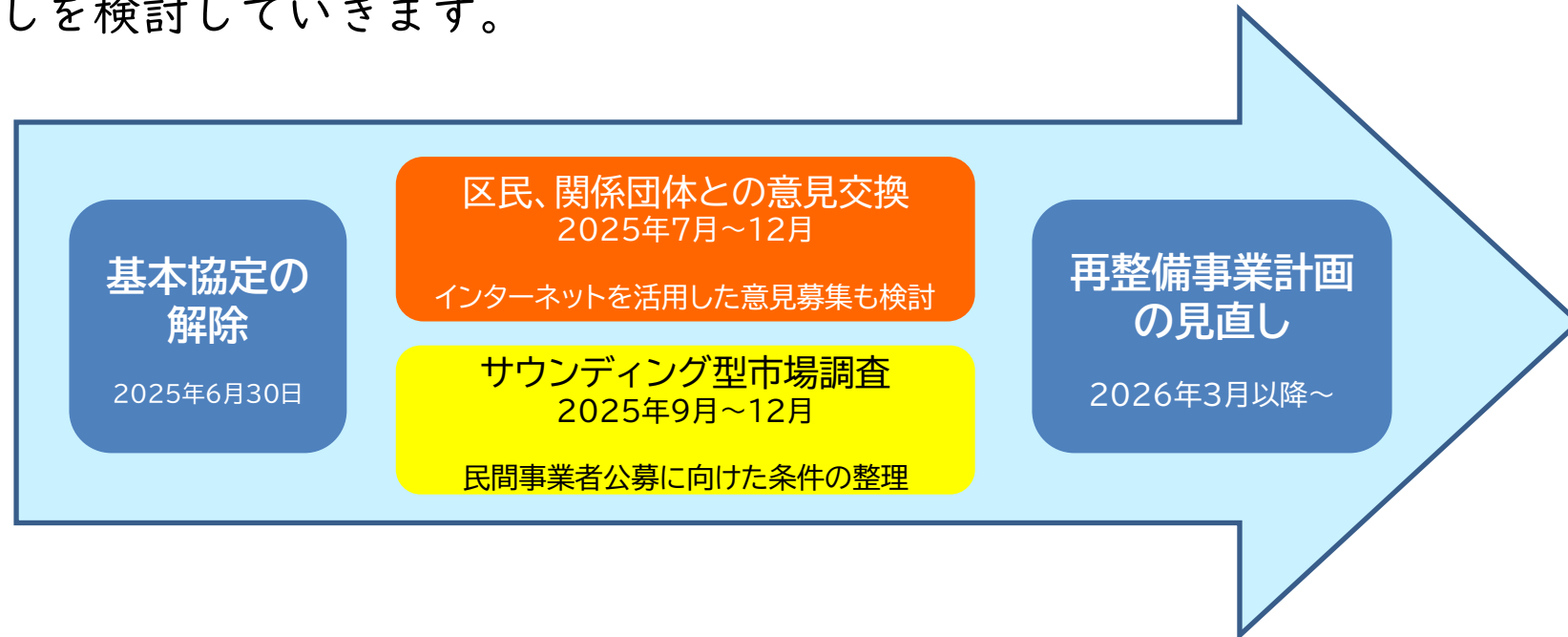
【発信者】企画部 広聴・広報課長 矢澤 電話番号 03-3228-8803

I - ① 中野駅新北口駅前エリアにおける今後のまちづくりの取組

▼再整備事業計画の見直しに向けて

これまでの経緯の中で、区民の皆さんから多くのご意見をいただきました。引き続き、適切な情報提供と十分な説明、対話に努め、皆さんの声を丁寧に聞きながら、中野サンプラザのDNAを継承した中野らしい新たなシンボル拠点の整備をはじめ、中野駅周辺のまちづくりを着実に進めることで、皆さんが誇りに思えるまちの実現を目指します。

今後の取組として、区民、関係団体との意見交換やサウンディング型市場調査等に基づき、再整備事業計画の見直しを検討していきます。



【問合せ】 まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課長 近江 電話番号 03-3228-8970

Ⅰ-② 中野駅新北口駅前エリアにおける今後のまちづくりの取組

▼中野らしさ、中野の魅力が生かされる新たなシンボルについて

区民や団体等との意見交換会では、以下の基本方針に基づき、これまで整備を予定していた主要な施設や機能について、幅広く意見を伺います。

拠点施設整備・誘導の基本方針

中野のシンボルとなる
新たな文化・芸術等の
発信拠点の形成

公共公益性の向上に
つながる空間構成

持続可能性を高める
用途構成や機能

未来を担う子ども
たちのために、ど
んな施設や機能が
必要か

(例)

- ・ 新たな文化・芸術等発信拠点としての多目的ホール
- ・ にぎわいと交流を創り出す広場
- ・ 居心地がよく、歩きたくなるまちなかづくり
- ・ バンケットや会議場、宿泊施設

など

区民にとってどんな
機能があると嬉しい
か、どんなことを体
験してみたいか

I - ③ 中野駅新北口駅前エリアにおける今後のまちづくりの取組

意見交換のテーマ

- 中野駅新北口駅前エリア再整備事業計画における拠点施設整備・誘導の基本方針
- 基本方針に基づく必要な機能

区民との意見交換 ① (7月23日、26日、29日)

【区民との意見交換①】

- ・ 7/23 (水) 野方区活センター
(ワークショップ形式)
19時00分～20時30分
- ・ 7/26 (土) 産業振興センター
(質疑応答形式)
10時00分～11時30分
- ・ 7/29 (火) 南中野区活センター
(ワークショップ形式)
19時00分～20時30分

区民との意見交換 ② 団体との意見交換

【区民との意見交換② 9月】

- ・ 質疑応答形式 1回
- ・ ワークショップ形式 2回
(会場未定)

【団体との意見交換 8月～12月】

- ・ 子育て世代
- ・ 経済団体
- ・ 町会自治会
- ・ 子ども
- ・ 福祉関係団体
- ・ まちづくり関係団体
- ・ その他

2 - ① 文化芸術・産業振興等の行政・地域情報の発信及びコミュニティ形成に係る連携協定の締結

区はP I A Z Z A株式会社と連携協定を締結しました。P I A Z Z A株式会社が運営する地域コミュニティアプリ「ピアッザ」を活用して、文化芸術及び産業振興を中心とした情報発信を強化し、住民同士のコミュニティ形成の促進を目指しています。

▼経緯

- P I A Z Z A株式会社は、西武信用金庫主催・中野区共催の「ビジコン中野2024」で、『生成AIを活用したイベントの可視化により、地域活性化』を提案し、最優秀賞を受賞。
- 区は、文化芸術情報の発信力や短時間勤務を含めた雇用等のマッチングといった課題を抱えており、それらに対する十分な対応ができていない。
- P I A Z Z A株式会社の提案は、これらの課題への対応に有効であり、コミュニティ形成につながるものであるため、連携協定を締結して取組を進めていくこととした。



▲連携協定式の様子

▼主な連携内容

- (1)文化芸術及び産業振興を中心とした行政・地域情報の発信並びに地域人材のマッチングに関すること
- (2) (1)に関連した住民同士のつながりの形成及び地域コミュニティの活性化に関すること

※「ピアッザ」の利用については、協定締結に基づき、区と利用者の費用負担は原則なし

▼「ピアッザ」の活用(想定)

- ・区が実施する文化芸術・産業振興を中心とした事業やイベント、区内団体・個人等様々な主体によるイベント情報を投稿。
- ・区内団体・個人による文化芸術や学びに関するサークル・教室等の情報の投稿により受講希望者とのマッチングを図る。
- ・区主催または区に関連のある商店街のイベント等のボランティア募集情報や中小企業による求人情報の投稿により人材のマッチングを図る。
- ・区民同士による不用品の譲り合い機能を活用。



3 - ① 旧中野刑務所正門の移築・修復工事の進捗状況等

区の有形文化財に指定された旧中野刑務所正門（新井 3-37）は、現在地から約 110 m 西側の位置に曳家により移築し保存するため、移築・修復工事を行っています。

▼経緯

- ・旧中野刑務所正門（文化財名：旧豊多摩監獄表門）の保存及び公開、そして平和の森小学校新校における良好な教育環境の確保との両立を図るため、正門は曳家により移築することを決定。
- ・2021年3月、区は財務省から旧法務省矯正研修所跡地を学校用地及び地区施設道路用地として取得。当該敷地を分筆し、西側用地を移築先に選定した。

▼曳家とは

建物を解体して建て直すのではなく、そのまま移動させること。旧中野刑務所正門のような煉瓦造建造物の曳家は、全国的にも珍しい事例である。

▼曳家経路と曳家先

- ・正門や曳家のレール等の荷重に耐えられるよう、地耐力の弱い地表面から約 2.5 m の深さまで掘削し、耐圧盤（荷重を支えるための厚さ約 30 cm の鉄筋コンクリート製の床）を設置。

▼矯正研修所跡地



3 - ② 旧中野刑務所正門の移築・修復工事の進捗状況等

▼曳家について

2025年7月28日から8月5日までの期間で、曳家により正門を移動する予定。

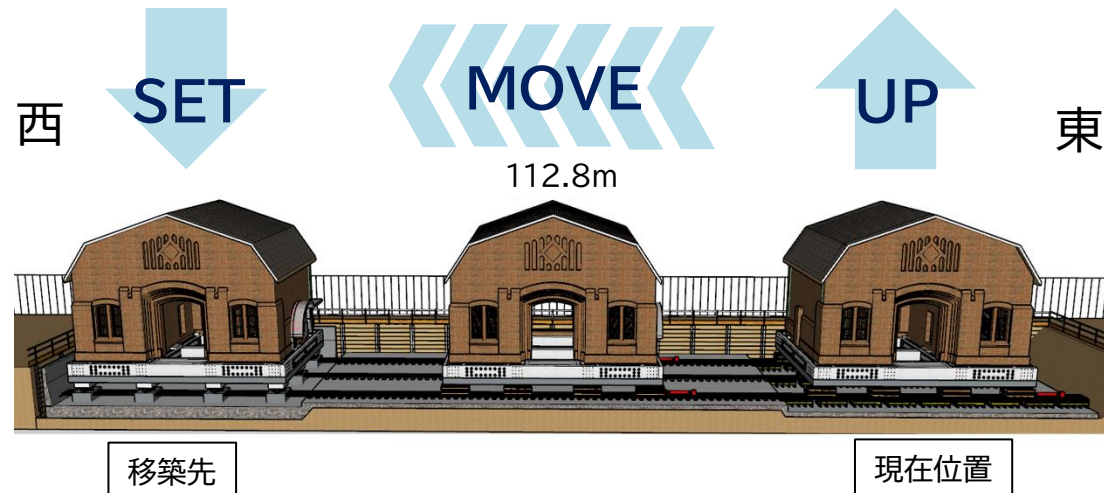
正門をジャッキで持ち上げ、コロ棒の上に組まれた移動装置に移し、油圧ストロークジャッキで正門東側から押すことにより、西側へ移動させる（図1・図2）。

▼正門の移動（曳家）後

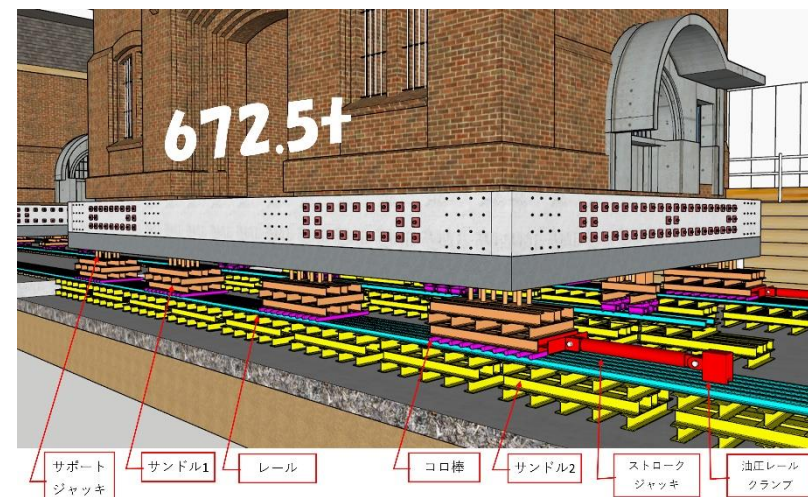
移動先で建物自体の修復や建具の復元を行う。また、正門の元位置や曳家経路上の耐圧盤等の撤去、埋め戻しを行った後、平和の森小学校の新校舎整備工事に着手することとなっている。

▼今後のスケジュール（予定）

2025年11月末	移築工事（曳家工事・曳家経路）の完了
2027年2月	曳家後工事（修復・復元工事）の完了
2028年5月	正門の公開開始



▲図1 曳家のイメージ



▲図2 曳家装置のイメージ

3 - ③ 旧中野刑務所正門の移築・修復工事の進捗状況等

曳家の公開見学会の開催

正門の曳家時期にあわせて、区民等を対象とした公開見学会を開催。

▼期間

2025年7月29日（火曜日）～7月31日（木曜日）

全10回

▼対象

18歳以上

▼定員

各回30名（抽選制）

▼申込

7月13日（日曜日）まで電子申請にて受付

▼その他

曳家の様子について、YouTubeの中野区公式チャンネルで動画配信などを積極的に行う予定。併せて、旧小菅刑務所庁舎をはじめとした関係文化財と連携した情報発信や活用も検討していく。



旧中野刑務所正門曳家見学会

令和3年6月4日に区の有形文化財に指定された旧中野刑務所正門は、現在地から西側に約110mの位置に曳家により移築し保存するため、令和6年4月より移築・修復工事を行っています。
令和7年7月下旬より曳家を行うため、見学会を開催します。

日時 7月29日(火)～31日(木)
各日4回(9:20/11:00/14:00/15:30) ※初日は午後のみ

会場 旧矯正研修所跡地内（新井3-37）

対象 18歳以上の方

申込期限 7月13日(日)まで ※各回定員30名
抽選制

申込方法 電子申請

4 - ① 新たな病児保育施設の開設

夫婦で働く共働き家庭は年々増加しており、様々な子どもの預かりサービスのニーズが高まっています。

なかでも、子どもが病気で保育施設等に預けることができない場合に、子どもを預かる「病児保育」は子育て家庭から高いニーズがあります。

これまで、区では北部地域の1か所のみ実施していましたが、子育て家庭の声を受け、子育てと就労の両立等を支援するため、新たな病児保育施設を開設しました。

- ▼開設時期 2025年7月1日（火曜日）
- ▼名称 病児保育室こどもハート中野
- ▼アクセス JR、東京メトロ中野駅南口より徒歩2分
(中野2-26-11 こどもでばーと中野2階)
- ▼定員 1日6人
- ▼対象年齢 満1歳から小学校就学前まで
- ▼保育期間 月曜日～金曜日 9時～18時（祝日、年末年始を除く）
- ▼利用料金 1日2,000円
(住民税非課税世帯・生活保護世帯は無料。
所得税非課税世帯は1,000円。ひとり親世帯は半額。)



▲詳細は区公式HPで
ご確認ください

4 - ② 新たな病児保育施設の開設

特徴

- (1) 中野駅南口「徒歩2分」のアクセス
- (2) 小児科クリニック併設（小児科、小児循環器内科、アレルギー科）
- (3) オンラインで空き状況の確認、利用予約が可能

詳細はこちら ▶



▲施設外観



▲施設内観(入口)



▲施設内観(フリースペース)

5 - ① 健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業

区民が自ら意識して継続的に健康づくりに取り組めるようポイント付与をインセンティブとし、スマートフォンの健康管理アプリやウェアラブル機器を活用した実証実験を行います。

▼健幸とは

健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営めること。区は、SWC（スマートウェルネスシティ）の理念を踏まえ、区民の健康度と幸福度を高める施策を展開するとともに、居心地が良く歩きたくなるまち（ウォーカブルシティ）を目指している。

▼SWCとは

ウェルネス（＝健幸）を、これからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、市民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す考え方。

▼ポイント付与の考え方

- ・ 1 日あたりの歩数
- ・ 測定拠点での体組成計及び血圧計による測定
- ・ 区が指定する事業、イベントへの参加 等

ポイント付与数及び具体的な事業等については募集までに公表。

▼ポイント付与数

- ・ 1 人あたり、上限 6,000 ポイント／年
- ・ 1 ポイント＝1 円として、中野区デジタル地域通貨「ナカペイ」への交換が可能

5 - ② 健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業

▼対象

2025年10月1日時点で40歳以上の区内在住者かつスマートフォン保持者

▼募集人数

1,000名／年（定員を超えた場合は抽選）

▼申込方法

電子申請、郵送または窓口にて受付

▼募集期間

2025年7月20日～8月20日

▼機器の貸与

募集時に希望調査し、
スマートウォッチを100名、
活動量計を100名に貸与する。
※800名はスマートフォンの
アプリのみでの参加となる。

▼事業実施期間（予定）

2025年10月～2027年度末

